

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		外出支援サービス事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部 健康福祉部 所属課 高齢者支援課 所属班 高齢者保険班
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			課長名 後藤博康 担当者名 佐藤里佳 (内線) 2114
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			法令根拠
予算科目		会計	款	項	目	事業連番
		30	11	3	1	10483
				<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 —
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 14 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
 家庭内において、送迎したり一般の交通機関を利用することが困難な高齢者に対して、移送用車両(車椅子乗降可能車両)を利用して居宅と医療機関を送迎する。移送用車両により、市役所から10Km以内の医療機関への送迎サービスを行う。  
**【業務の流れ】**  
 申請受付後、実態調査を行い、ケア会議で審査し可否を決定する。委託料、車借上料の支払。  
**【主な予算費目】**  
 委託料、車借上料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度より、委託先が山紫会のみとなる。
社会福祉法人山紫会が移送用車両により、自宅から病院への送迎サービスの事業に対する委託料。計360,000円。	
熊本運輸支局に自家用有償旅客運送者の登録を行った	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
	ア 送迎サービスの利用回数 回
	⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
通院に際し、家庭内で送迎することも一般の交通機関利用も困難な高齢者	ア 第1号被保険者 人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
通院の負担を経済的・身体的に軽減でき、健康状態の悪化予防ができる。	ア 経済的・身体的に軽減できた高齢者数 人
	⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる。	ア 介護サービス利用者の満足度 %
	⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円	1,085	1,439	1,709	684	1,625	1,800		1,800
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	1,085	1,439	1,709	684	1,625	1,800	1,800		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4		
延べ業務時間	時間	56	124	124	198	124	124	124	124		
(B)人件費計	千円	222	494	494	788	494	494	494	494		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,307	1,933	2,203	1,472	2,119	2,294	2,294	0		
活動指標	ア イ	回	448	341	500	132	200	200	200		
対象指標	ア イ	人	9530	9900	10050	10100	10600	11000	11400		
成果指標	ア イ	人	12	6	15	7	15	15	15		
上位成果指標	ア イ	%		69.7	80	69.7	80	80	80		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 平成14年度から旧西合志町で、平成15年度から旧合志町で介護予防・地域支え合い事業として開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 NPO等による福祉有償運送ができた。  
 合併時の調整により、合志市内片道250円、合志市外片道500円となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 低所得者にも利用させてほしいとの要望がある。  
 受託事業所から、車両が古くなったので新しい車両に更新してほしいと要望がある。

事務事業名	外出支援サービス事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度的事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 通院の負担を経済的・身体的に軽減でき、健康状態の悪化予防ができることにより、不自由なく地域の中で生活できるように結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 核家族化が進んだ現在を考慮すると、住み慣れた地域で在宅生活を過ごすためには、やむおえないことである。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図とも適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 家庭内において、送迎したり一般の交通機関を利用することが困難な高齢者に対して医療機関への受診は必要であり、通院のための外出支援サービス事業を継続して行う必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 一般の交通機関を利用できない高齢者のみを対象とした外出支援サービスであり、他に対応できる事業はない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 利用者の一部負担金が低額であり、所得要件等の区分がないため、一部負担金の値上げと所得要件等の見直しが必要と思われる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託で行っているため。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ケア会議で審査しているため。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、家庭内において、送迎や一般の交通機関を利用することが困難な高齢者に対して医療機関への受診は必要であり、通院目的の外出支援サービス事業を継続して行う必要がある。 ③効率性については、利用者の一部負担金が低額であり、所得要件等の区分がないため、一部負担金の値上げと所得要件等の見直しが必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 利用者の一部負担金が低額であり、所得要件等の区分がないため、一部負担金の値上げと所得要件等の見直しが必要と思われる。 NPOによる福祉有償運送事業者への転換を検討する。 低所得者およびバス路線等がない地域への交通手段の確保の検討が必要。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

利用料が低額であるためバス、タクシー等の事業所への説明が必要である。
------------------------------------

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	6	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )